

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公表番号】特表2010-507697(P2010-507697A)

【公表日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-533785(P2009-533785)

【国際特許分類】

C 0 9 B 29/36 (2006.01)

C 0 8 K 5/42 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 29/36 C L A Z

C 0 9 B 29/36 C S P

C 0 8 K 5/42

C 0 8 L 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月15日 (2010.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

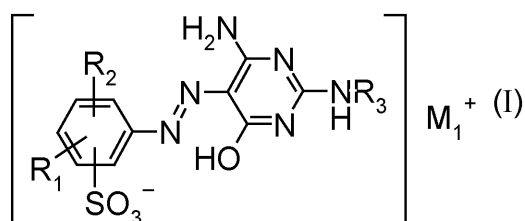
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高分子量物質の原液着色の方法であって、式 (I) :

【化 2 2】



[式中、

M₁ は、H、1/2 M₂、1/3 M₃ 又は NR₄ R₅ R₆ R₇ であり、

M₂ は、酸化状態IIのアルカリ土類金属若しくは遷移金属、又は酸化状態IVのオキソ - 金属であり、

M₃ は、Al (III)、酸化状態IIIの遷移金属又は酸化状態Vのオキソ - 金属であり、

R₁ は、H又は非イオン性置換基であり、

R₂ は、Hであるか、又はR₁とは独立に、更なる非イオン性置換基であり、

R₃ は、H、C₁ - C₆ アルキル、フェニル、CO - C₁ - C₆ アルキル又はCO - フェニルであり、そして

R₄、R₅、R₆ 及び R₇ は、それぞれ他と独立に、H、又はフェニル、ベンジル若しくはC₁ - C₆ アルキル（これらは、非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはハロゲンにより置換されていてもよく、そしてC₃ - C₆ アルキルの場合には、中断されていないか、又はOにより中断されている）である] で示される化合物又はその互変異性体を、成

形前又は成形中に高分子量物質に組み込む方法。

【請求項 2】

M_2 が、Ca、Co、Cu、Fe、Mg、Mn、Sr、TiO、Zn 又は ZrO であるか、あるいは M_3 が、Al、Ce、Co、Cr、Fe 又は VO である、請求項 1 記載の方法。

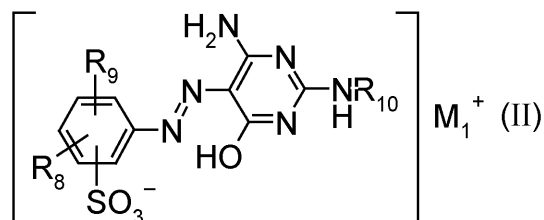
【請求項 3】

R_1 が、 $-0.3 \sim 0.6$ のパラ Hammett 定数 ρ を有する非イオン性置換基であり、そして R_2 が、H、又は R_1 とは独立に、 $-0.3 \sim 0.6$ のパラ Hammett 定数 ρ を有する更なる非イオン性置換基である、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

式 (II)：

【化 2 3】



[式中、

M_1 は、H、 $1/2 M_2$ 、 $1/3 M_3$ 又は $NR_4 R_5 R_6 R_7$ であり、

M_2 は、酸化状態 II のアルカリ土類金属若しくは遷移金属、又は酸化状態 IV のオキソ - 金属であり、

M_3 は、Al (III)、酸化状態 III の遷移金属又は酸化状態 V のオキソ - 金属であり、

R_8 は、 $-0.3 \sim 0.6$ のパラ Hammett 定数 ρ を有する非イオン性置換基であり、

R_9 は、H であるか、又は R_8 とは独立に、 $-0.3 \sim 0.6$ のパラ Hammett 定数 ρ を有する、更なる非イオン性置換基であり、

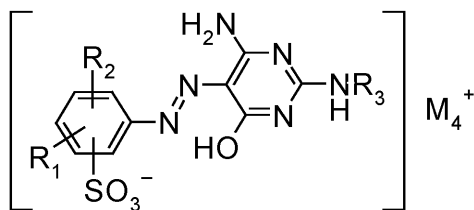
R_{10} は、H、 $C_1 - C_6$ アルキル、フェニル、 $CO - C_1 - C_6$ アルキル又は $CO -$ フェニルであり、そして

R_4 、 R_5 、 R_6 及び R_7 は、それぞれ他と独立に、H、又はフェニル、ベンジル若しくは $C_1 - C_6$ アルキル（これらは、非置換であるか、又はヒドロキシ若しくはハロゲンにより置換されていてもよく、そして $C_3 - C_6$ アルキルの場合には、中断されていないか、又は O により中断されている）である] で示される化合物又はその互変異性体。

【請求項 5】

請求項 4 記載の化合物及び下記式：

【化 2 6】



[式中、

M_4^+ は、 Na^+ 、 Li^+ 又は K^+ であり、そして R_1 、 R_2 及び R_3 は、請求項 1 と同義である] で示される化合物を含む、混合物又は固溶体。

【請求項 6】

総着色高分子量物質に基づいて、 $0.01 \sim 70$ 重量 % の請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項

記載の式 (I) 若しくは (II) の化合物、又は請求項 5 記載の混合物若しくは固溶体を含む (高分子量物質中に分布した固体粒子の形で存在するか、又は溶解した形で高分子量物質に均質に浸透している) 、原液着色された高分子量物質。